

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 内線, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返 and 期間限定複数年度.

(2) トータルコスト

Table with columns for 事業費内訳 (費目等), 延べ業務時間の内訳, and a cost breakdown table with columns for 21-26年度 (決算/計画).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping 手段 (Main activities), 目的 (Objectives), and 上位目的 (Higher-level objectives) to specific indicators and their values over time.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か?, ② 事務事業を取り巻く状況, ③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望.

事務事業名	大原函学記念館活動費 2130管理費含む	課名	生涯学習課	班名	文化振興班
-------	-------------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかずか？意図することが上位目的に結びついているか？ 歴史資料の整理・保存を担う専門的な施設は他になく、地域の歴史・文化を振興、継承していくために必要である。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民はもとより、より多くの人に大原函学やこの地域の歴史・文化の豊かさをより知ってもらわなければならない。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 函学関連資料は民間では維持できずに自治体に移譲された経緯がある。記念館開館以前は、劣化被害、盗難被害が発生し、いくつかは買い戻し、いくつかは未だ所在不明のままである。文化財保護の観点から保存公開施設は不可欠である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 一般来館者の増加を目指したい。 【H22参考データ】施設/入館者数/開館日数 ○伊能忠敬記念館/79,636人/296日 ○山武市歴史民俗資料館/6,836人/272日 ○芝山にはむ博物館/9,108人/290日
	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ 史跡整備などの公園維持管理業務の増加もあり、記念館の活動が縮小している。展示解説や展覧会を充実させるなどして一般の来館者増加へつなげたい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 収蔵スペースに限りがありすべてを受け入れることができない。類似施設である飯岡資料館や各所で保存されている文化財は十分活用されているとはいえ、考古、民俗、歴史など分野ごとに適切な管理がされるよう、統廃合や新たな収蔵施設も含め検討するべきである。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 現段階で博物館施設として最低限の活動しかできていない。講座なども市民のボランティアに近い運営である。展示設備の更新で維持費のかからない仕様を積極的に考えたい。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 業務量そのものは多くはないが、ひとつの事務処理に必要なプロセスが負担となっている。土日勤務があるため事務処理が遅延しがちであり、スムーズな報告・連絡・相談が難しいのが現状。臨時職員による事務処理ができないか検討中である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 入館料(一般300円)が設定されており、土・日・祝日にも開館している。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 資料の調査・整理・保存・管理などの来館者に見えない部分の業務を重視しすぎていたか。多くの人にその成果を見てもらうために何をすべきか、利用しやすい施設づくり、PR方法を考えていきたい。
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:飯岡歴史民俗資料館) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①入館者の減免導入。障害者の無料化ができないか。 ②遺跡史跡公園を含めた施設整備の長期的計画の策定。H25に計画、H26以降実施。 ③市内類似施設との連携、収蔵施設の検討。																						
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①使用料条例による規定あり。他施設とも合わせて検討か。 ②県、国との協議が必要。策定委員会の準備を。 ③課内部での精査が必要。																						